

令和5年 第1回

川西市教育委員会（定例会）議事録

川 西 市 教 育 委 員 会

○ 会議日程・付議事件	-----	1
○ 出席者	-----	2
○ 説明のため出席を求めた者	-----	3
○ 議事録作成者	-----	3
○ 会議の顛末（速記録）	-----	4 ~ 12

○ 会議日程・付議事件

会議日時 令和5年1月19日(木) 午後3時00分

場 所 川西市役所 4階 庁議室

日程 番号	議案 番号	付 議 事 件	備 考
1		議事録署名委員の選任	
2		前回議事録の承認	
3		教育委員の活動について	
4		諸報告	

○ 出席者

教 育 長 石 田 剛

委 員 坂 本 かおり
(教育長職務代理者)

委 員 治 部 陽 介

委 員 倉 見 昇 一

○ 説明のため出席を求めた者

教 育 推 進 部 長	中 西	哲
こ ど も 未 来 部 長	山 元	昇
教 育 推 進 部 副 部 長 兼 就 学 ・ 給 食 課 長 (就 学 担 当)	岩 脇	茂 樹
教 育 推 進 部 副 部 長 (社 会 教 育 ・ 図 書 館 ・ 公 民 館 担 当)	藪 内	寿 子
教 育 政 策 課 長	的 場	秀 樹
社 会 教 育 課 長	寺 田	義 一

○ 議事録作成者

教 育 政 策 課 主 任	荻 野	裕 也
---------------	-----	-----

[開会 午後3時00分]

- 石田教育長 それでは、只今より、令和5年第1回川西市教育委員会（定例会）を開会いたします。
- 「本日の出席者」をご報告いたします。佐々木委員が欠席でございます。倉見委員については、オンラインでの出席でございます。倉見委員、入室確認をお願いします。
- 倉見委員 はい、入室しております。よろしくお願いいたします。
- 石田教育長 映像及び音声により委員本人であること、また相互間での映像及び音声の送受信が適正に行われていることが確認できました。
- なお、「事務局職員の出欠」につきましては、事務局から報告をお願いいたします。
- 教育政策課長
（的場） 本日の「事務局職員の出欠」について、ご報告申し上げます。
- 本日は、議題に関係する職員が全員出席でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 石田教育長 次に、本日の「議事日程」につきましては、配付しております議事日程表のとおりであります。
- これより日程に入ります。日程第1「議事録署名委員の選任」を行います。教育長において、治部委員、坂本委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。
- では次に、日程第2「前回議事録の承認」でございますが、事務局において調製し、第19回定例会、第20回臨時会の議事録の写しをお手元に配付しております。事務局から説明をお願いいたします。
- 教育政策課長
（的場） それでは、令和4年第19回定例会、第20回臨時会の議事録につきまして、ご説明申し上げます。
- まず、第19回定例会の議事録につきましては、1ページに会議日程・付議事件、2ページに出席者を、3ページに説明のため出席を求めた者、4ページに議案等審議結果を、議事録につきましては5ページからでございます。会議次第に基づきご審議いただきました経過等について調製させていただきます。
- また、第20回臨時会につきましても、同様に調製させていただきます。

最後に署名委員の署名ということで、第19回定例会を坂本委員、佐々木委員に、第20回臨時会を佐々木委員、治部委員よりご署名を頂戴いたしております。以上でございます。

石田教育長 説明は終わりました。只今の説明について、質疑はございませんか。よろしいですか。

それでは、お諮りいたします。第19回定例会、第20回臨時会の議事録につきまして、これを承認することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、議事録につきましては、承認されました。

では次に、日程第3「教育委員の活動について」です。事務局から報告をお願いいたします。

教育推進部長 (中西) それでは、12月分の教育委員の皆様のご活動について報告いたします。まず、坂本委員、治部委員、佐々木委員におかれましては、総合教育会議にご出席いただいております。

次に、坂本委員におかれましては、多田小学校の特別支援教育を含むいじめ・不登校対策について、ご視察いただいております。また、多田中学校において開催されました兵庫県移動教育委員会にご出席いただいております。

続いて、佐々木委員におかれましては、清和台中学校にて、模擬裁判の授業をご参観いただいております。

最後に、倉見委員におかれましては、川西市教育委員会研究指定事業に係る希望校園所プレゼンテーションにオンラインにてご出席いただいております。

主なものではございますが、ご報告させていただきます。

石田教育長 教育委員の活動についてご報告いただきました。これに付け加えて、何かございますでしょうか。まず、坂本委員、どうですか。

坂本委員 15日に県教委の移動教育委員会があつて、多田中学校に来ていただきました。多田中学校の取組をパワーポイントで説明された後、時間がなく、

フリースクールの場所を見ずに行く予定でしたが、教育長がぜひとも見たいということで、生徒さんもその日は時間的にはおられなかったのを見させてもらいました。県教委の方も教育長も教育委員の方もすごくよいですねとおっしゃっていたことがうれしかったです。その後、いろいろお話する機会があって、県教委の反響がよかったと聞いていまして、ぜひとも川西市のいいところだとアピールしていきたいなと思っています。

多田小学校にもお伺いして、いじめや不登校の話聞いてきました。西門校長は子どもたちが居心地のいい場所にしたいとおっしゃっていました。子どもたちが先生こんにちとはと勢いよく入ってきて、フリースクールが子どもたちの居場所となっていて、大人がどうぞという雰囲気があることはいいなと改めて思いました。以上です。

石田教育長

ありがとうございました。

校内フリースクールについては、来年度、小学校で基本的には一斉に実施する方向で進めております。この間の教育会議では、各小学校に自分の中学校区にある中学校のフリースクールの様子を見学して、把握してほしい旨はお伝えしています。

また、縦のラインとして、いいフリースクールの運営ができたらと考えています。ありがとうございました。

治部委員

今の話で質問よろしいですか。

石田教育長

はい、治部委員。

治部委員

県教委の方が特に興味を持たれた点や賞賛された点はどのような部分でしたか。もう少しお話を伺えますか。

坂本委員

前回の定例会でもお伝えしましたが、教室の造りの部分です。学校らしさが薄れていて、家と学校の間ぐらいの居場所感でした。四角い机がなく、円形のテーブルがあったり、個別ブースがあったり、随所に工夫がされています。また、オープン時間帯が、給食を挟んで昼前後となっていて、朝起きられない子もゆっくり来られるし、給食も食べられるし、昼から来ることも可能で、非常に通いやすいのではないかなと興味深く話を聞かれました。

治部委員

そうですか、ありがとうございます。

石田教育長 そういう理解が、次の県からの支援につながっていくとありがたいなと思っています。

 川西市長も、昨日、東谷中学校のフリースクールへ見学に行かれてい
ますので、また理解が深まっていくといいかなと思っています。

 よろしいですか。倉見委員、何かありますか。

倉見委員 研究指定校の審査に関わらせていただきまして、まずは、教育保育課の
担当の方に随分ご丁寧な対応をいただきましたことに、お礼を申し上げた
いと思います。本当にありがとうございました。

石田教育長 ありがとうございます。

倉見委員 それと、川西養護学校に、もう決まったのですか。その方向でというこ
とでしょうか。

石田教育長 はい、もう発表しています。

倉見委員 川西こども園も非常に意欲があったように思います。事務局案の中にも
ありましたが、仮に指定校に外れたとしても、園でやろうという意欲があ
れば、その熱意を実際の保育活動に生かせるような形で、何らかの支援を
お願いできればと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

石田教育長 ありがとうございました。

 川西養護学校の提案も、また興味深いものであったと思います。倉見委
員が言われたように、幼児教育・保育から提案があった部分については、
私も園所長会で評価のお話をさせていただきました。

 こども園がどのような発表ができるかは、なかなか課題も多いところ
です。勇気を持って手を挙げて、職員内でも論議をしていました。園長とお
話する中では、このようにプレゼンをすること自体が初めてだったので、
うまくいかない部分もありましたが、すごく勉強になりましたということ
です。

 別の機会に、川西こども園の職員とも、みんなで考えてプレゼンできま
したと話をしましたので、来年度はどういう支援ができるかを考えて、私
も意識的に見学へ行きたいなと思っています。

倉見委員

2校のうち、どちらかという選択でしたので、結果的にそうになりました。例えば、これが5校ぐらい応募があつて、そのうち2校とかであれば採択されたかもしれません。これは、今のやり方を否定しているわけではありません。

今回、こども園として初めてということもありますが、やはり研究であれば、もう少し論理的に進めていく必要があります。慣れていないという言い方は失礼かもしれませんが、研究の目的があつて、それにどうアプローチしていくのかを論理的に考えていくようなサポートを、教育委員会事務局の指導主事の先生からしていただければと思いました。

石田教育長

プレゼン自体も学びではありますので、自分たちの学びをどう理解してもらうかは、幼児教育・保育、学校教育に対して、一つの方法とも思います。ありがとうございました。

今回、プレゼンに学校園所の研修リーダーに採点する側へ入ってもらいました。教育委員会だけで決めるのではなく、学校園所のリーダーが、実際にそのプレゼンを見て判断することも大きなことかなと思っています。このことについて、何か、よろしいですか。

私からは、一昨日、緑台中学校の市指定研究1年次発表を聞いてきました。結構たくさんの方がご参加していただいたのと、講演内容は、非常に問題提起としてよかったです。研修会の後に、当日の講演の様子を録画したものを研究のために見させて欲しいと幾つかの学校園所から問合せがありました。情報共有できるような形で、今、対応しています。

まだ1年目ですが、意欲的に協働的な学びや主体的な学びを進めていこうというところは評価できるのではないかなと思います。

指導主事も15名以上来て、やはり指導主事は、単なる事務ではなくて、授業や教科指導に関しても、共に学ぶ機会を持ってほしいと思っていましたので、すごくよかったですね。

坂本委員、どうでしたか、参加されて。

坂本委員

ありがとうございます。

先生のお話も興味深く聞かせてもらいました。ワークショップ型の研修が久しぶりにあり、すごい短かったのですが、同じテーブルのメンバーとは共通の理解ができ、やはりあの場が大事だなと思いました。ぜひともこれからも続けてほしいなと思います。あと幼稚園や保育所の先生も来られていたのが本当にいいことだなと思いました。

石田教育長

そうですね。最近の研究会は、幼児教育・保育の参加率がすごくよくて、問題意識を持って見られています。問題提起としては、授業を見た後に、その授業について、どのように思ったのか、どんな視点や切り口で意見交流するのか、そういう場面が欲しいなと思いました。

講師の方が鳴門教育大学の大学院の教授の藤村裕一先生で、文科省とかいろいろなところに関わっている方なので、その講演が結構時間を取ってしまいました。やむを得ないかなと思いますが、坂本委員が言われたように、自分たちが主体的に学ぼうと思ったら、意見発信とか意見交流の場面が欲しいです。でも、久しぶりにそういう形にできてよかったです。

それからもう一点、これはまだ頭出しの段階ですが、現在、年に二、三回、施設長会議をやっています。これは、民間も含めて、保育所の管理者や園所長が参加するものです。来年度から民間の幼稚園もそこに入って、民間も公立も同じように問題共有したり、意見交流したり、または研修したりする場面が必要で、今後、そういうことを視野に進めていこうと両部長ともお話はさせていただいています。また、形になれば報告させていただきますけれども、そういう動きを始めようかなと考えています。以上ですが、何か質問等、よろしいですか。

それでは、教育委員の活動については以上といたします。

石田教育長

次、日程第4、諸報告「令和5年（令和4年度）はたちのつどいについて」であります。事務局から説明をお願いします。

社会教育課長
(寺田)

社会教育課より、1月9日に開催いたしました令和5年（令和4年度）はたちのつどいについてご報告いたします。

今回は、キセラホールでの式典に川西市・猪名川町選出の兵庫県議会議員及び市議会議員の皆様を来賓としてお迎えしました。また、新型コロナウイルス感染症対策や、当日ご来場いただけない対象者、ご家族等に向けて、昨年に引き続き、川西市公式ユーチューブチャンネルにて式典のライブ配信を実施いたしました。

今回の特徴として、送迎用ロータリーの整理や来場者誘導などの会場整理、晴れ着の着つけ直し対応について、青少年地域活動団体や着物の着つけ団体にご協力いただいたほか、協賛企業や協力団体からのお祝いメッセージを式典開始前に上映しました。また、キセラ川西せせらぎ公園に大型モニターを設置し、同時開催の隣接公園でのイベントのみに参加される対象者も式典の様子が見られるようにいたしました。

式典では、式辞・祝辞の後、公募により選ばれた1名に、これまでの人

生を振り返り、自分の将来の夢、夢に向かってどのように行動していくかの決意を「はたちの抱負」として発表いただきました。

続いて、川西警察署生活安全課より「未来ある君たちへ」と題し、二十歳の節目に、被害者にも加害者にもならないための注意喚起として講話をいただきました。

ホールに隣接するキセラ川西せせらぎ公園では、書道パフォーマンスといったステージイベントのほか、モルック体験、雑貨販売などのはたちのお祝いブースの出展をはじめ、バルーンアート等のフォトスポットの設置など、川西市中心市街地活性化協議会による人生の節目を祝うイベントが式典と同時刻から開催されました。

本年の案内状送付の対象者は1,587名で、キセラホールの式典への参加者数は567人、参加率は約36%でした。また、当日のライブ配信の視聴者数は1,369人でした。

式典参加者、ライブ配信の視聴者ともに昨年を下回っておりますが、式典会場に入場せず、イベント会場で過ごされる方も多数おられるなど、各個人が希望する参加スタイルの多様化に合わせた参加が可能になるよう工夫したことにより、分散化したものと考えます。

来年度に向けては、市のホームページを通じてのアンケート調査結果や応援職員など参加スタッフの意見も参考に、今回の課題を検証し、開催方法を検討してまいりたいと考えております。報告は以上でございます。

石田教育長

ご苦労さまでした。今、説明もありましたが、新たな取組として幾つかやっていく中で、それなりに成果が出た形かなと思います。

一つは、いろんな関係団体の人に講演いただいたのは、参加した団体の方からも非常によかったという意見はいただいています。自分たちの団体に関わった子どもたちが、はたちのつどいで集まってくるときに、声かけもしやすかったし、また逆に子どもたち、二十歳になる人たちもそういう団体に声をかけてくれたと、非常に好評でした。

また、イベントとセレモニーを同時にすることが、これからの在り方で、式典会場もとても静かで落ち着いた感じで進められていて、すごいよかったと思っています。

先ほどのお話にもありましたが、お祝いメッセージも、結構いいメッセージをいただいています、よかったです。

アンケート結果を、速報でいただいています。一つは、はたちの抱負、かなり踏み込んだ自分の悩みを語っておられて、それについて評価する人が回答した人の半数ぐらいおられて、その語られた方も、その後、卒業生

と一緒に写真を撮られるなどして非常によかったです。また、心配していたのが、警察の方からの講話が固過ぎたのではないかとという部分です。ただ回答を見ると、30%ぐらいはよかったとあり、前向きに回答してくれています。分母はそんなに多くありませんが、それでも30%ぐらいの人がよかったと言ってくれていることが、正直意外ですが、前向きに受け止めている若者も多かったです。

あと、キセラでのイベントも、参加人数が多かったと思います。
何か質問等ありますか。どうぞ、治部委員。

治部委員

キセラのイベントには、どんなものがありましたか。

社会教育課長
(寺田)

ステージで、音楽や書道パフォーマンス、会場に来られている子たちが体験書道、半紙に「二十歳」と書いたり、あとはキッチンカーが出たり、モルックをやったり、そのようなものがありました。

治部委員

ありがとうございます。

石田教育長

その参加の仕方もなかなか難しいところもあります。人を誘導するために、担当課も含めて少し苦労された部分もありますが、回答されている人の大体45%がよかったと言っているから、まあまあかなと思います。

来年度はどのような形ですのか。担当課としては、ワクチン接種会場の都合や天候に左右されない形で実施したいと言っていますが、そのあたり、もうちょっと柔軟にできたらと思っています。ほかに質問ありますか。

坂本委員

質問ではないですけども、お友達の子どもさんが、成人式が何人かいらっしやいました。楽しかったと言っていました。ありがとうございました。

石田教育長

担当課とも話しましたが、はたちのつどいという形で実施したので、その意味がどこにあるのかについては、同窓会的な意味もありますが、今までやっていたからやるのではなく、引き続き考えていく必要があるのかもしれない。よろしいですか。

説明が終わりましたので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

次回の定例教育委員会は、2月14日火曜日午後2時から、202会議室において開会予定です。

これもちまして、令和5年第1回川西市教育委員会（定例会）を閉会

いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

[閉会 午後3時25分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

令和5年2月14日

署名委員 治部 陽介

坂本 かおり